

使用貸借契約書

貸人及び借人は、農地法の趣旨に則り、この契約書に定めるところにより使用貸借契約を締結する。

この契約書は、2通作成して貸人及び借人がそれぞれ1通を所持し、その写し1通を農業委員会に提出する。

年 月 日

住所 _____
貸人（以下甲という。）
氏名 _____ (印)
住所 _____
借人（以下乙という。）
氏名 _____ (印)

1 使用貸借の目的物

甲は、この契約書に定めるところにより、乙に対して、別表1に記載する土地その他の物件を使用させる。

2 貸借の期間

- (1) 貸借の期間は、 年 月 日から 年 月 日まで 年間とする。
(2) 貸借期間満了前に乙に事故ある時（民法第599条）は、貸借が消滅する。

3 転貸又は譲渡

乙は、本人又はその世帯員等が農地法第2条第2項に掲げる事由により借入地を耕作することができない場合に限って、一時転貸することができる。その他の事由により借物を転貸し、又は借権を譲渡する場合には、甲の承諾を得なければならない。

4 経常費用

- (1) 目的物に対する租税は、甲が負担する。
(2) 農業災害補償法に基づく共済金は、乙が負担する。
(3) その他目的物の通常の維持保存に要する経常費は、借主が負担する。

5 契約の変更

契約事項を変更する場合には、変更契約書を作成し、かつ、農業委員会に通知しなければならない。

6 その他この契約書に定めのない事項については、甲乙が協議して定める。

